

## アートマイル国際協働学習を通して見た日本の教育の課題

塩飽 隆子\* ((一財) ジャパンアートマイル)

(一財)ジャパンアートマイルは、自国の伝統文化に誇りを持ち、グローバルな広い視野をもって自ら考え行動し、多様な文化背景を持つ人々と協働して新しい価値を創造する人材の育成を通じて、平和な世界の実現をめざす活動を続けています。

アートマイル国際協働学習は、国内校と海外校がインターネットで繋がり、世界共通の課題を学習テーマに議論を重ね、自分たちが世界の仲間とどういう未来を創りたいのかを形にするInternational Collaborative Learningです。

2006年にスタートしたアートマイルには、これまでに104の国・地域、1,586校、56,657名の児童・生徒・学生が参加しており、学習指導した教師は4,000名を越えます。

国際協働学習に取り組む教師をファシリテートしてきた経験から日本の教育の課題について述べたいと思います。

### 日本の教育の課題

学習指導要領には従来の知識偏重の教育から「主体的・対話的で深い学び」への転換が明示されていますが、多くの教師がその重要性を認識していないことが問題だと考えます。

教師に見られる課題は、

- ・今日本の教育が大きく変わらなければ世界から取り残されるという危機感がない。
- ・教科書を教える授業から脱却できない。教師自身が正解がない問題について考えることができず、相手との議論の中から生まれる想定外を取り込むことができない。
- ・学習目的に沿って教科横断的に授業計画を組み立てられない。
- ・相手とコミュニケーションをとらず、一方的な自己完結型の学習になりがち。

### これからの教育の方向

日本の教育の本質は「明日の日本人を育てる」ことであり、教師には学習者に「未来を生きる力」を育てることを意識の根底において教育することを望みます。

学習者が主体的・対話的に深く学ぶためには、まず教師自身はその資質・能力を付けなければなりません。そういう教育を受けてこなかった教師が、自分の頭で考え、対話し、協働する力を身に付けるためには覚悟が必要です。相手が居るが故に想定外が起こる国際協働学習は、教師も学習者も鍛えるプロジェクトベースの学習です。

2020年度のアートマイルは、世界中で切実な問題である「COVID-19」を共通の学習テーマとして取り組んでいます。2021年度は2019年度に続き自分たちが生きる未来の課題であるSDGsの17の目標を学習テーマとします。

子どもたちの未来のために、一緒に日本の教育を変えませんか？